

# 事業概要シート

施策：子育てを支える環境の充実

《 》は、29年度の当初予算

事業名： 母子・寡婦等医療費助成事業	現状維持	予算額	48,604 千円
		《 》	48,235 《 》
財源内訳	国庫支出金		千円
	県支出金	20,730	千円
	地方債		千円
	その他		千円
	一般財源	27,874	千円

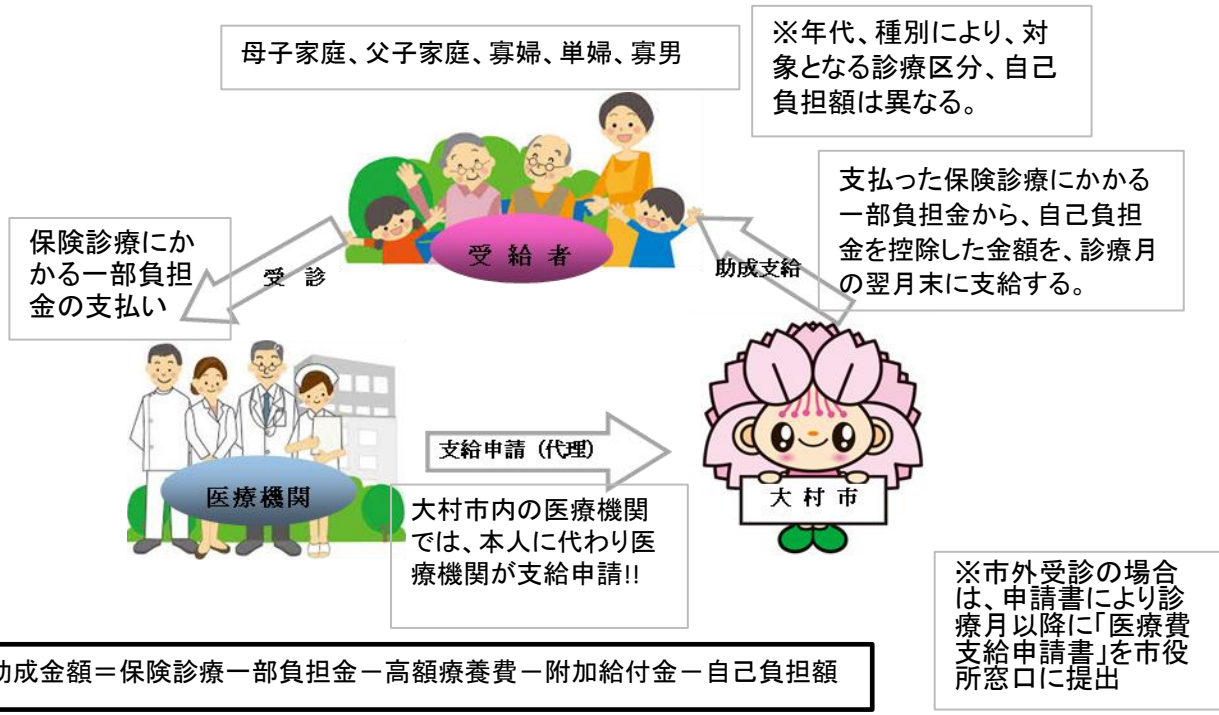
## 【事業の目的・概要・対象】

医療費の一部を助成することにより、母子家庭、父子家庭、寡婦、単婦、寡男の保健の向上に寄与するとともに福祉の増進を図る。

受給資格者が医療機関ごとに支払った保険診療にかかる一部負担金から、自己負担額（1日800円、月上限1,600円。寡婦・単婦・寡男の入院は1日1,200円）を控除した金額を診療を受けた月の翌月末に支給するもの（ただし、高額療養費及び附加給付金など、他で医療費が支給される場合は除く）。

- (1) 県補助事業・・・母子家庭、父子家庭、寡婦60歳代（入院のみ）、単婦（入院のみ）
- (2) 市単独事業・・・母子・父子家庭の子のうち高校在学中～20歳未満の者、寡婦50歳代（入院のみ）、寡婦60歳代（外来・薬剤）、寡男

**母子家庭等の経済的負担を軽減し、安心して病院などで受診ができるよう医療費の一部を助成する。**



## 【背景】

ひとり親家庭や中高齢の単身世帯において、家計を占める医療費の経済的負担が大きいため、その負担を軽減させる目的がある。

担当課	福祉保健部 福祉総務課	問合せ先	0957-53-4111（内線604）
-----	-------------	------	---------------------

# 事業概要シート

## 【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	受給資格者数	人	2,879	2,900	2,900	2,900	2,900
②	医療費支給件数	件	28,124	28,687	28,687	28,687	28,687

## 【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	県補助事業支給額	千円	39,280	40,266	41,460	41,460	41,460
②	市単独事業支給額	千円	7,794	7,969	7,144	7,144	7,144

## 【予算・決算】

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	合計
事業費	42,972	42,796	47,074	48,235	48,604	48,604	278,285
国庫支出金							0
県支出金	17,562	17,310	19,640	20,133	20,730	20,730	116,105
地方債							0
その他							0
一般財源	25,410	25,486	27,434	28,102	27,874	27,874	162,180
人件費	3,289	3,972	3,868	4,725	4,725	4,725	25,304
職員	0.39人	0.43人	0.42人	0.53人	0.53人	0.53人	2.83人
時間外勤務	171h	183h	111h	130h	130h	130h	855h
嘱託員		0.31人	0.32人	0.33人	0.33人	0.33人	1.62人
フルコスト	46,261	46,768	50,942	52,960	53,329	53,329	303,589

妥当性 (市の関与)	(1) 県補助事業については、制度関与であり、市の関与の必要性は高い。 (2) 市単独事業については、母子家庭等は経済的に困難を抱える場合が多く、母子等の健康を支える意義は大きいため、市の関与の必要性は高い。
有効性 (施策貢献度)	ひとり親家庭や寡婦等へ直接医療費の助成を行うことで、経済的負担軽減に寄与でき、有効性は高い。
効率性 (コスト)	保険診療一部負担金から自己負担額を引いた額を助成するものであり、また、種別や年齢で対象となる診療、助成割合を設定しており、制度設計上これ以上の見直しの余地はない。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価意見のとおり